

大学病院でも治らない胸郭出口症候群による手のしびれが、一力月半のプラセンタ注射で解消

清水整形外科
クリニック院長
し みず しん い ち
清水伸一

手や腕のしびれと
首や肩のこりに悩んだ

しびれや神経痛を訴えて来院する患者さんにプラセンタ注射

を行うと、こく短期間のうちに劇的といつてもいいくらい

顕著に症状の改善する例が多く見受けられます。

ご主人と一緒に果樹園を営む五十歳の女性は、四年前から、両肩にジリジリとしたしびれが現れ、近くの病院の整形外科にかかりました。そこでは肩こり

といわれ、血流を促す薬を飲みましたが、症状は悪化の一途をたどり、肩や首のこりがひどくなつて、腕にまでしびれが出てきたのです。

そこで、別の病院に転院してMRI（磁気共鳴断層撮影）検査を受けたところ、今度は頸椎間板ヘルニアと診断されました。頸椎の牽引（引っぱるこ

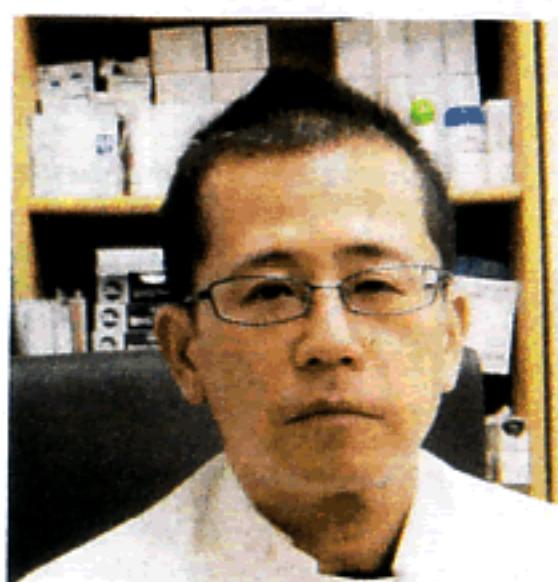
と）とリハビリ（機能回復訓練）、投薬による治療を続けたものの、痛みやしびれがよくなることはなかつたそうです。

女性が次に訪れたのは、大学病院でした。神経内科の専門医に診てもらいテストを行つたところ、ようやく胸郭出口症候群であることがわかつたのです。

胸郭出口とは鎖骨や第一肋骨などに囲まれているすきまのことです、ここを通るたくさんの神経や血管がなんらかの原因で圧迫されると、手や腕のしびれ、首や肩のこり、痛みなどが現れます。こうして起る病気を胸郭出口症候群といいます。

この女性の場合、果樹園の仕事で腕を長時間上げたままの姿勢を長く続けてきたのが原因だろうといわれたそうです。

その後は、ときどきプラセンタの食品を飲んでいるだけですが、首や肩のこりに悩まされることなくなつたそうです。



清水伸一先生

◆プラセンタの20の薬理作用◆

- ①基礎代謝向上作用
- ②細胞活性化作用
- ③呼吸促進作用
- ④血行促進作用
- ⑤造血作用
- ⑥疲労回復作用
- ⑦血圧調節作用
- ⑧自律神経調節作用
- ⑨ホルモン調整作用
- ⑩免疫強化作用
- ⑪活性酸素除去作用
- ⑫抗突然変異作用
- ⑬創傷回復促進作用
- ⑭抗炎症作用
- ⑮抗アレルギー作用
- ⑯体質改善作用
- ⑰強肝・解毒作用
- ⑱妊婦の乳汁分泌作用
- ⑲食欲増進作用
- ⑳精神安定作用



一回の注射だけで痛みとしびれが半減

大学病院では胸郭出口症候群

この女性の場合、果樹園の仕事で腕を長時間上げたままの姿勢を長く続けてきたのが原因だろうといわれたそうです。

その後は、ときどきプラセンタの食品を飲んでいるだけですが、首や肩のこりに悩まされることなくなつたそうです。